

第30回勝山市地域公共交通会議 会議録要旨（平成29年度 第2回）

1.開催日時：平成30年1月18日（木）14時30分～16時30分

2.開催場所：勝山市民会館 3階 第1会議室

3.出席委員：

委員	福井大学大学院 教授	川上 洋司（座長）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局 首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）	畑 憲治
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局 運輸企画専門官（輸送・監査担当）	平井 早苗 （代理 小中 太）
	福井県総合政策部 交通まちづくり課長	猪嶋 宏記 （代理 中屋 貴大）
	奥越土木事務所 勝山維持管理課長	鈴木 常仁
	勝山警察署 交通課長	加藤 明宏
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫
	勝山市高齢者連合会 代表	斎藤 甚三郎
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長	佐々木 大二郎 （代理 吉田 周平）
	京福バス株式会社 経営推進室 企画営業グループ 部長	矢部 良智
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	竹田 幸弘
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦
	福井県交通運輸産業労働組合協議会 勝山市副市長	森 司
	勝山市教育部長	松村 誠一（会長） 平沢 浩一郎 （代理 北川 喜樹）
	勝山市建設部長	酒井 与志弘
	勝山市商工観光部長	水上 実喜夫 （代理 北川 昭彦）
	勝山市健康福祉部長	松井 隆治
	勝山市市民生活部長	中山 弘之
事務局	勝山市市民生活部市民課課長	河野 誠
	主任	森 弘章
	主査	石田 剛士

4.欠席委員：勝山市民生委員児童委員協議会 会長 松井 誠一

5.傍聴人の数：0人

6.議題

- (1) コミュニティバス荒土線および野向線 下り最終便の統合について
- (2) コミュニティバス鹿谷線「西光寺」停留所の追加およびデマンド運行の拡充について
- (3) 京福バス路線再編計画による京福バス北郷線の廃止について
- (4) 恐竜博物館直通便の時刻の変更について

7.会議資料

- 資料1 コミバス荒土線および野向線 下り最終便の統合について
- 資料2 鹿谷線「西光寺」停留所の追加およびデマンド運行の拡充について
- 資料3 京福バス路線再編計画による京福バス北郷線の廃止について
- 資料4 恐竜博物館直通便の時刻の変更について
- 資料5 勝山市地域公共交通会議委員名簿
- 資料6 勝山市地域公共交通会議座席表

8.議事等内容

- (1) コミュニティバス荒土線および野向線 下り最終便の統合について

委員 薬師神谷などの野向町の端と新道などの荒土町の端の利用者が同時に乗車した場合は時間がかかりますが、これまでの利用状況を見ると、このようなことはないと思います。12月～3月の冬期間は北部中学校の生徒が利用するため、生徒を寒い中待たせるのは酷なため、先に荒土町内を回る形で考えています。

座長 現在これらの路線はどのような方が利用していますか。

委員 野向線では、野向町の若者が北野津又～勝山駅を利用しています。その他、福井大学医学部に通院する高齢者や、サンプラザなどでの買い物の帰りに利用する方がいますが、とても少ない状況です。

座長 今回の改正では路線が無くなる訳ではないので、現在利用されている方にしっかり周知していただくということで、他に意見はありますか。

委員 1台に集約することで乗り残し等が発生しないのであれば問題ないと思います。

座長 この議題についてはこれでよろしいでしょうか。

一同 承認

(2) コミュニティバス鹿谷線「西光寺」停留所の追加およびデマンド運行の拡充について

委員 西光寺を回るにあたって最も懸念するのが転回場所での冬の除雪です。昨日雪が降った時に見に行きましたが、そのときはきれいに除雪されていて十分転回することができそうでした。しかし、雪が降りたてのときは果たしてどうなのか不安です。今後雪が降るたびに確認に行きたいと思いますが、市建設課にも除雪をお願いしたいと思います。

座長 除雪については道路管理者の方でしっかり対応して欲しいと思います。杉俣地区については地元でもご了解を得ているということですが、利用者が年間 46 人ですが、頭数にしたら 1 人か 2 人だと思いますので、現在利用されている方にしっかり周知してほしいと思います。

委員 西光寺の転回場所は公道ですか。それとも民地ですか。

事務局 公道です。

委員 通常の除雪をしておけば転回できるということですか。

委員 交差点ではありませんが、変則の 4 差路といったところでしょうか。ただ、雪が降り積もった時に雪の山になってしまうと転回ができなくなると思います。

委員 杉俣をデマンドにするということですが、幅員が狭いと説明していますが、一般の車が通れてバスが通れないというのはおかしい話だと思います。なんとか工夫して、杉俣と西光寺を定期的に走るようにできませんか。

会長 鹿谷線のバス車両は中型なので幅員が狭い道路は通行が難しくなります。除雪に十分配慮して、建設課の方で対応するということですので大丈夫だと思います。

座長 地元の方には了解を得ているということですが、矢戸口から乗車する人は従来よりも時間がかかることになりますか。

事務局 西光寺の利用状況がどのようになるか分かりませんが、今のところ所要時間の変更は考えていません。現在の運行で、時間が少し余っている部分がありますので、そこで調整することもできます。

座長 利用者への周知をしっかりとお願いしたいと思います。冬期間は別のダイヤがありますが、停車しないバス停や通らないルートがありますか。

委員 バス停の位置は変わりますが、止まらないところはあります。

委員 新しく通るルートを確認させてください。県道を新しく走るということですが、道路管理者の方には今後運輸局から安全に通行が可能か照会させていただきます。警察の方には、この会議で承認をいただければ、お認めいただいたと認識しますので、事後の照会は行いませんのでよろしくお願ひします。

座長 この議題についてはこれでよろしいでしょうか。
一同 承認

(3) 京福バス路線再編計画による京福バス北郷線の廃止について

委員 京福バス北郷線の廃止にあたりご迷惑をおかけしますとともに、コミュニティバスへのシフトということで感謝いたします。今回の廃線にあたりまして背景を説明させていただきたいと思います。今回の路線再編計画ですが、これは勝山市だけでなく営業区域全体で運転手の確保が非常に難しくなっていることが原因です。福井駅周辺につきましては、一昨年の福井駅西口広場の開発もありまして、利用状況については下げ止まりましたが、その他のエリアでは厳しくなっています。特に若年層の運転手の減少傾向が著しく、バスを運転するには大型二種免許が必要になり、免許の取得費用がかかりますし、免許を取得してもバスしか使い道がないことから、運転手不足が慢性化しております。私たちも色々手立てをしているところですが、バスやタクシー業界、トラック業界、全国の運送業界全てで深刻な状況に陥っているのが現状です。なんとか地域のバスを残していくため、関係市町と協議をしているところです。対策ですが、輸送規模に応じてバス車両とタクシー車両の分担を進めることで、普通二種免許でタクシー車両を活用して運転手不足を解消したいと考えています。また、電車と競合する路線については分担をしっかりと、利用が少ない路線は、状況に応じた形にしていく方向で各市町と協議している中で、勝山市では福井勝山総合病院から坂東島を廃止させていただきたいと申し入れを行いました。広域路線バスの福井勝山総合病院からヴィオ方面は従来どおり運行させていただきたいと考えています。今までの利用方法やダイヤ、車両等も変わりますので、ご迷惑をおかけしますが公共交通網を維持していくための施策です。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

座長 勝山交通から意見はありますか。

委員 朝の2つの便が福井勝山総合病院で乗り継ぎになりますが、雪の状況などで万が一遅れた場合に、大野市へ通学する学生がいますので、バスが到着するのを待っていただくなど、柔軟な対応をお願いしたいと思います。

座長 今までは乗り継ぎなしで運行していましたが、今回から乗り継ぎが必要となりますので、勝山交通(株)としっかりと接続することが課題になります。京福バス北郷線はこれまで遅れたことはありますか。

委員 長距離の路線ですので、利用のない停留所である程度所要時間を吸収でき

- ていました。
- 座長 乗り継ぎについては事業者間で連携しながらやっていただきたいと思います。乗り継ぎするだけでも時間がかかりますので。
- 会長 路線再編計画ですが、県下でかなりの影響があると思います。今回、北郷線が廃止となりますと、市でバス車両を最低 1 台確保しないとイケません。全県下こういった影響のある路線再編計画について、福井県では何かサポートしていくような議論は出ていませんか。
- 委員 今回の件は昨年 10 月に勝山市からお話をいただきまして、我々も協議しましたが、京福バス(株)の運転手がいないのと、車両の提供ということで話もいただきましたが、今後何かしらサポートしていかないといけないという話は出ていますが、現時点ではそういった制度というのはありません。
- 会長 廃止の通知があってから半年近く経っていますが、勝山市のことだけを申し上げているわけではありません。嶺北管内でこれだけ多くの路線で市町が全部対応しないとイケないということで、福井県として独自の政策をお願いしたいと思います。勝山市は人口 2 万 4 千人ですが、バスだけで 6 千万円近く負担していますので、ぜひ県からもサポートをしていただきたいと思います。
- 座長 採算性の問題もありますし、ドライバーの手当ても今後課題となってきます。
- 委員 福井県は全国 1 位の求人倍率で、求人しても人が集まらないのが現状です。ハローワークに照会しましたが、運輸産業については求人倍率が 4 倍で、4 社から求人があっても 1 人いるかないかという状況で顕著となっています。労働局としても、求人が非常に顕著な部門部分については、新年度個別の窓口を設けて対応するという情報をいただきました。国としても対策を講じていかないといけないと考えています。
- 座長 この場だけではなかなかうまくいかない話ですので、国の方も本腰を入れて対応しないとイケない課題だろうと思います。
- 北郷はもともとフィーダー路線という扱いでしたが、今回は対象にならないのでしょうか。
- 委員 事前に勝山市から相談がありましたが、本省に照会をかけたが、新規性がないという理由でフィーダーの対象にならないという回答がありました。
- 座長 高校生の通学となるとなくてはならない必要性の高い路線です。上下最終便については利用状況により廃止するということですが、他に意見はありますか。
- 委員 奥越土木事務所ですが、現在は京福バス(株)のバス停ということで道路占有

許可を出していますが、4月1日から市の路線が変わるということで、変更手続きが必要になります。

座長 4月1日から変更ということで、関係機関が連携して対応してほしいと思います。

事務局 停車しないバス停があるということですが、4月1日から新一年生が入ってくるということで、バス停の変更はありますか。

座長 自宅の近くにバス停があるのに止まらないというのは柔軟に取り扱うことできないですか。手上げ方式のバス停とか。

委員 そういった制度はありますが、警察が認めないといけませんし、道が狭いので難しいと思います。

座長 バス停間の距離が200mか300mだから飛ばしても支障ないということですが、新入生がどのバス停で乗降するか分からないので、柔軟に考えるといいと思います。

事務局 下り最終便について、北部中学校に通っている生徒の保護者から、部活延長に対応したバスを走らせてほしいという要望が前々からあります。通常部活は6時に終了して6時23分のバスに乗車していますが、中体連と新人戦の2週間ほど前から部活延長ができ、6時30分に終了すると、帰るバスがなくて困っているとのこと。これまでは、広域路線として大野市から坂東島まで1台で運行しているバスのため、時間を遅らせることはできないと回答していました。部活延長に対応する場合、勝山市内の他の中学校も対応しなければなりませんし、そこまで対応する必要があるのか課題となっています。今後、利用する方の意見を聞いて対応したいと考えています。

会長 部活延長に対応すると、大野方面から乗ってくる高校生を待たせることとなります。一部の人のために遅らせることはできないので、学校の方で対応してもらいたいと思います。

座長 これについても関係機関との最後の調整が残っているということですので、今回の変更についてはこれでよろしいでしょうか。

一同 承認

(4) 恐竜博物館直通便の時刻の変更について

委員 第14便と第15便は、勝山駅の方から博物館へ行く利用者がいないので、前の便が勝山駅に着いて利用者が降りたらそのまま博物館の方に向かっ

ていました。そのため3分ずつ短くなっています。13分にしても支障はありません。

座長 特に運行上問題がなくて、こちらの方が分かりやすく、駆け込み乗車が防げるので、3分程度だったら支障がないと思います。この議題についてはこれでよろしいでしょうか。

一同 承認

(5) その他

座長 その他に何かありますか。

委員 今私たちは平泉寺方面の路線バスをやらせていただいています。その関係で、一昨年のJRのキャンペーンや昨年の平泉寺1300年祭がありまして、非常に平泉寺の入込客が多くなっています。平泉寺へのアクセスの問い合わせも非常に多くなっていますし、2023年に北陸新幹線が福井まで延伸するということで、今後平泉寺の入込客は多くなると思います。今のところ平日はコミバス平泉寺線や平泉寺・猪野瀬予約便で朝1便、昼1便、夕方1便の計3便で対応し、休日は市内観光バス「ダイナゴン」も運行し7、8便で対応していますが、平日の便数が少なくなっています。勝山駅では勝山交通(株)がタクシーを待機させていますし、私達もタクシーの予約があれば行くこともありますが、観光客の足を確保していかないといけないということで提案させていただきます。

座長 今回協議事項ということではなくて、今後どのように対応するか検討をしていただきたいという提案で、自らも検討するということですが、こういうことを事業所の方から提案していただくというのは非常に良いことだと思いますので、全体の公共交通体系の基本的な維持とか、いろんなバランスがありますが、利用者本位の公共交通を実現するためにどうするかという重要な課題だと思います。何かご意見はありますか。今後の入込の状況や観光客の人数であるとか、どういう手段やバリエーションの選択肢を持てばいいのか、他に運行している路線バスやタクシーとの棲み分けとか、いろんな課題を考えないといけないですし、検討事項としてはいろんなポイントが凝縮されているところだと思います。特にこれから平泉寺も非常に脚光を浴びる観光ポイントとして大事にしていかないといけないと思います。

委員 ポイントとなるのは既存のタクシー事業との違いといいますか、両方バランスが取れた交通をしていただきたいということです。2年前にもえちぜん鉄道からフルタイムで便利な路線がありましたが、既存の交通手段との

棲み分けや区分をしっかりと出して、双方が利用者にとって便利であり、かつ、運行する事業者にも影響がないように取り組んでいただきたいと思います。今回の提案の平泉寺へのアクセスが利便性に欠けるということについて、市の観光政策も含めて、全体の交通として考えていただき、既存の交通にとってマイナス面が出ないように十分ご配慮いただき運行していただきたいと思います。単に運賃を下げるなど、その部分だけにとどまらず、全体的な交通の関係で考えていただきたいと思います。

会長 市としてもタクシー事業はなくてはならないので、現在タクシーがどれくらい利用されているか利用状況を把握してから、みなさまにお示ししないと分からないと思います。

座長 それらの情報も収集しながら継続審議という形にしたいと思います。バス事業の規制緩和で、事業者がそういう提案をすることは非常に良いことだと思います。様々な意見を集約し、継続的にサービスを供給する、地域公共交通会議の意義はそういうところにあると思います。この辺について、もう少し情報を入れながらどういうところが論点になるのか整理しながら、また事務局の方でも次の機会に議論を展開していくようお願いしたいと思います。

その他ありますでしょうか。

委員 地域公共交通会議でのバス停設置の議論の資料として用意させていただきました。他の県でも直近の会議でご覧いただき、警察の方にも意見照会していますので、持ち帰りいただいて何かご意見がありましたら勝山市か運輸支局の方にいただけたらと思います。来週一杯あたりでご連絡いただけたらと思います。

座長 作成中のパンフレットの意見ということで事務局でも運輸支局でも結構ですのでよろしくお願いします。